



# 南行通信

自分もみんなも大切にする子供を育てる

～やさしさいっぱい 夢いっぱい 元気いっぱい～

令和7年4月28日

校長 中村 由美子



4月17日・18日に行った第1回保護者会では、多くの保護者の皆様にご参加いただきありがとうございました。新年度が始まり2週間。子供たちも担任もまだ手探りな状況の中で、保護者の皆様とお話してきたことは今後の学級運営に大きな力となります。

さて、前回の学校だよりでは、「自分もみんなも大事にする子供を育てる」学校目標についてお知らせしました。今号では、各学年の学年目標について、各学年の思いをお知らせします。

<p>1年生「だいすき」 ～だいすきをふやそう～ 友達が好き・学校が好き・自然が好き・地域が好き 「身の周りの人や物を好きになり、進んで関わろうとする子ども」になってほしいという願いを込めました。</p>	<p>2年生 やさしい子 学校にも慣れ、まわりのことを少しずつ考えられるようになってほしいです。自分だけでなく、まわりのことを考えることができる「やさしい子」に成長してほしいと思います。</p>	<p>3年生「こころ」 相手のことを考えようとし、行動しようとする子、困っている子に声をかけたり、手を差し伸べたりしようとする子。そんな3年生になってほしいなと思います。</p>
<p>4年生「ハピネスアップ!」 昨年度の学年目標「ハピネス」から、さらにアップしていける1年にします。「自分も良い・相手も良い」そのような考え方や人との関わり方ができると、そこに幸せは生まれるのだと思います。どのように発言・行動することがみんなの「ハピネスアップ!」に繋がるのか。子どもたちと共に考えながら、取り組んでいきます。</p>	<p>5年生「千紫万☆」色とりどりの花が咲き乱れる様子を表す「千紫万紅」をベースに、一人ひとりの個性を輝かせてほしいという願いを込めて「紅」→「光」→「☆」と変化させ、今の形になりました。自分の色や輝きを大切にしつつ、友達の個性や輝きも認め合う5年生になってほしいと思っています。</p>	<p>6年生「絆・考動・飛躍」 友と心で繋がり、互いに高め合う「絆」、自ら考え、目的に向かって行動できる「考動」、そして未来へ勇気を持って一歩を踏み出す「飛躍」。最高学年としての自覚を持ち、自分自身を誇れるような6年生になってほしいという思いを込めました。</p>
<p>せせらぎ学級 「ちからを あわせよう    じぶんで かんがえよう    からだを うごかそう」 思いを伝えたり、相手の気持ちを考えたりして、やりとりを広げてほしい。「できた、うれしい、やったあ」という達成感、満足感を味わうことができるように、いろいろなことにチャレンジしてほしいと思っています。</p>		

## 読書タイムと音読について

南行徳小学校の課題の一つに「豊かな言語能力の育成」があります。言語能力は、「自分の思いを伝える」「他者の思いを読み取る」「文章を正しく理解する」など、様々な場で必要な力です。授業のふり返りを書いたり、友達に自分の思いを伝えたり教育活動全体でその力を育てていきたいと考えております。「言語能力」の基盤は、「言葉」です。子供たちは、生活の中で、様々なトラブルが起きます。そのトラブルを「言葉」を使って解決するのではなく、「死ね」「消えろ」などの短い言葉や暴力で解決を図ろうとする姿があります。豊かな「言葉」を使って、自分の思いを伝えられる子供にしていきたいと心から思っています。

そこで、「語彙力」を高めるために、今年度から水曜日の朝学習を「読書タイム」としました。8時25分から40分まで読書を学級・学校全体で行います。短い時間ですが、集中して本を読むことで、様々な言葉や表現を獲得させたいと考えます。また、各学級で「音読」の宿題を出しています。音読も「語彙力」を高めることに大きな効果があるといわれています。目で文章を追うとともに、耳で聞くことで、書かれている文章の理解につながります。また、脳の前頭前野が刺激されセロトニンというイライラや気分の落ち込みを抑える物質が分泌され、気分が落ち着きリラックスできるそうです。夕方のお忙しい中、音読を聞くのは大変とは存じますが、多くの効果があるものです。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。